

7 委員の追加意見・要望等

1. 学生の確保と学習支援

中学校への宣伝に更なる努力をする必要があると考える。

高専は高校と違うこと、卒業後、大学への編入も含めたいろいろな選択肢があることも宣伝すべきである。

また専攻科進学についても、優秀者には無試験で進学できるシステムを試してみたらどうか。

学習支援については自発的に考えさせる方向（ミニプロコン、セルフプランニング実験など）は良いと思われるので、更にこの方向で進めていただきたい。

(和泉委員)

2. 学生指導について

高専はどちらかというと高校より大学に近い教育をしているように思われる。その点、学生指導は難しいところがあるのかもしれない。

全国に55高専あることを利用したクラブ活動やコンクールによる学生の生きがいづくり等も模索されたらどうであろうか。

(和泉委員)

3. 学寮運営について

非常に充実した施設のように思えた。運営について特に意見はない。

(和泉委員)

4. 研究活動と地域連携

地域と密着した研究活動が重要であると考えます。

多数の地場の企業や大学と共同でやれることをさがす努力が必要であると思うので、次の提案をしたい。

地元産業と高専の間で長期インターンシップの検討を行ってみたらどうか。私見であるが、1～2週間では双方にとって効果の割に負担が多いので、1ヶ月程度のインターンシップが可能か具体的にワーキンググループを作り検討をしたらどうであろうか。勿論いろいろな種類のインターンシップが考えられるので各学年に1回程度の1～2週間の短期のものも効果あると考えている。

(和泉委員)

5. その他

工学論理と工業簿記の教育内容を知りたい。今回は参加できなく申し訳ない。次回は参加したいと思っている。

(和泉委員)

研究室を見学させて頂いたが、「かなり古いもの」をお使いの様で各々の分野で手分けをして無償もしくは安価に提供していただける企業（大・小を問わず）を見つける努力をしてみたいかがでしょうか。小生も微力ながらお手伝いさせていただきます。

(青野委員)